

ThorensTD124 の導入(2)

－設置と試聴－

1. 始めに

前報(1)のレストアが完了しましたので、設置と試聴を行いました。

2. ThorensTD124 の設置と試聴方法

設置は Garad401 の左横を片付けて置くことにし、自作のインシュレーターをかませ、電源は中村製作所の古いアイソレーション電源トランスで中継することになりました。



まずは、カートリッジは、SPU Synergy、トランスは、STA6600L とし、若松通商の Maraz7 タイプのプリのフォノ入力に繋ぎ、プリの出力を TruPhase に Line 入力します。また、ZANDEN Model 120 へのフォノ入力も実施します。

試聴音源は、聴きなれた下記を使用し、LINN ショップ同席で試聴しました。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

ドイツグラモフォン MG9551

三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー：ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

Angel AA-9117・C

ヘンデル メサイア
オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア
ACCENTUS MUSIC KKC 1171/3
スメタナ わが祖国
ヤクブ・フルチャ指揮バンベルク交響楽団
キングレコード SKA-104
倍賞千恵子

3. ThorensTD124 の試聴方結果

最初に STA-6600L と若松通商の Maraz7 タイプのプリ経由で聴き始めましたが、少しハムを拾っていますので、この組み合わせのハム解消は後回しにして、ZANDEN Model 120 経由で再生していききました。

ざっと聴きでしたが、ThorensTD124 のポテンシアルの高さを前報(1)のレストアが引き出していることも分かりました。倍賞千恵子とメサイアは、LINN LP-12 に切り替えて比較してみましたが、細かい表現は LP-12 に歩があるようですが、SPU Synergy がこれほどの表現力があつたかという印象で、ThorensTD124 とのマッチングの良さがあることが分かりました。引き続き、じっくりと聴きこんでいきます。

4. まとめ

譲り受けた ThorensTD124 の整備が完了しましたので接続と設置を行い、試聴により動作確認を実施しました。カートリッジ、トランス、フォノイコライザーを交換しつつ、音質評価を行っていきます。

以上